

# 旅と絆

(株)センターツーリスト「旅行友の会」会報

## 第39号(夏号)

発行責任者 古久保 暢男

電話 06-6354-9131 (代)

FAX 06-6354-9134

E-mail c.t@f7.dion.ne.jp

### 2012年度「友の会」総会開催

## 絆が深まる旅の企画を

4月7日、今年もセンターツーリスト・旅行友の会は午前中、繁昌亭で落語を楽しみ、午後は総会でした。午前・午後通して参加者は107人で過去最高。総会は正森博子さんのピアノと高橋囀山さんの歌の演奏で始まり、旅の感想や交流で終わりましたが、「会員の絆が深まる旅の企画を。総会の内容にも工夫を」の意見もいただきました。総会後の大川端でのお花見大宴会にも40名以上が参加しました。

＜上村得世・友の会事務局長＞

## 総会あ・ら・かると



繁昌亭で挨拶  
上村得世事務局長



主催者代表挨拶  
古久保暢男会長



発言する  
山田かおるさん



前田進夫妻・廣谷好雄氏からの花束を受け  
とる松本武夫前社長



就任の挨拶をする  
瀬藤たみ子新社長



総会後の大川端(花見)の  
主役はなぜかこの方



参加者に勇気を与えた伊藤さん

3月10日、伊藤千尋(ジャーナリスト)朝日新聞所属)さんをお招きして“平和講演”が開かれました。

## 確信と勇気をもらった講演会

II ジャーナリスト・伊藤千尋さんを迎えてII

会場には300名を超える参加者がかけつけ大盛況。講演に先だつて一法真澄さんらのバンド演奏でなごやかな雰囲気です。

伊藤さんの「世界から見た原発事故と憲法9条のお話」は、ものの方について考えさせられました。

会場で訴えた震災・復興力には、26633円が集まり、現地に送りました。

苗族の民族舞踊に興じる参加者



歌でつづる

# 貴州省の旅

2012年  
3月19~24日

※菜の花の段々畑

どこまでも空まで染まるか貴州省の旅

一、山裾に 白く霞みて 梨の花

たわわに実る 秋を夢見る

※苗族の村で交流

二、苗族の 衣装華やき 踊りの輪

幼き子等も 手足ゆらして

※アジア最大の滝・黄果树瀑布

三、轟轟と 流れる滝壺 虹を写る

滝裏歩く 怖さ忘れて

※貴陽市にある大きな公園・

山の上には広福寺境内が広がる

四、朝未<sup>まだ</sup>き 貴陽公園 薄ら寒

散歩 太極 ダンスに人、人

上村 得世

## 手を **広** げても **納** めきれない 大自然! ケニアの旅

貞松浄子さん

50年来、抱き続けてきたケニア、キリマンジャロサファリに参加し大満足です。「百聞は一見に如かず」。

必死に脳裏に焼き続ける毎日でした。

両手を広げても納めきれない大自然。その沈黙の中に人間の

原口春江さん

子供のころからの夢—アフリカに行つて動物を見たい—が実現。チータ親子の別れのシーン。

間近にみるライオンの迫力と気品あふれる姿。象ファミリーの大群など書ききれない感動の数々でした。

傲慢さをいましめて

くれているような思いでした。



榎並利行さん

アフリカは遠いなと感じたが、それだけの値打ちがある。

野生動物との間近な出会いは初体験で感動。

多くの野鳥も撮影できてよかった。

ベテランガイド築地さんは気配りも行き届き、楽しい旅でした。

# キューバ

## 貧しくとも豊かな国

キューバを東から西へ革命の足取りをたどりながら横断し、歴史も現代のキューバも盛りだくさんみることができました。

毎食、生演奏をバックにし、サルサを教えるもらって踊り、最終日にはトロピカーナのゴーージャスなダンスと歌で仕上げ。

水に不自由といいつながら、緑の農村と牛馬の放牧ののどかな姿。

滑走路にも使えるという高速道路を牛が引かれ馬車が走り、路端に山盛りの出店。本当はたくましく、おおらかで面白い国です。



革命広場の横に建つ、内務省の壁面に描かれたゲバラの肖像画

このユニークさを保ちながら今後発展してほしいです。  
小山 直子

### 社員紹介



太田 祐里さん

今年3月に大学を卒業し、4月からセンターツーリストの社員として働くことになりました。

太田祐里です。

事務と添乗を担当。中でも添乗の仕事は本当に楽しく、やりがいがあります。

海外では中国の貴州省、国内では昨年末の望年ツアーや4月の屋久島など、ご一緒させていただきました。

反省することも多いで

すが、それ以上に仕事の楽しさ、いろんな方との出会いや親しくなれることの喜びを日々感じていきます。

今後も精一杯に仕事にとりくみたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

### 会員文芸欄

#### 沖縄平和の旅・その2

小川嘉憲(兵庫県西宮市)

〈反戦地主 池原さん〉

柵の中 牛舎の砦 地主起つ

〈万国津梁(しりりょう)の鐘〉

沖縄は 万国津梁 生きる道

〈平和の礎〉

戦争と平和の綱引き 摩文仁丘

〈南風原(はえばる)九条の碑〉

南風原の 病院跡に 九条碑

〈首里城 中山と守礼の邦〉

大国の はざまで沖縄 したたかに

〈内村千尋さん(瀬長亀次郎の娘)を囲む会〉

基地いらぬ 子チから娘 リレーする

〈団結小屋〉

座り込む 基地建設を 止めるまで

〈英霊賛美〉

大量死 命じた軍人 讃えられ

〈戦争犯罪人をたたえる吉田茂書の黎明の塔〉

(英霊賛美の大阪の塔には知事左藤義詮、大阪市長

中馬馨の署名)

# 縄文杉に魅せられて

—屋久島の旅—

観光

H・Kさん

トレッキング

高田佐知子さん



悠久の歴史を見つめてきた屋久杉の雄姿

白谷雲水峡は想像以上にハードで体力が心配でしたが、ガイドの方の助言に従っていくと、何とか完歩できました。カヤックは初体験でヒヤヒヤしましたが楽しい思い出になりました。年老いた木々、苔むす森、森の精に癒されました。

もう一度行きたい

登山経験のないわたしに屋久島の宮ノ浦岳頂上まで行けるなんて！山登りの楽しさと達成感を存分に味わって感激です。企画、お天気、一緒に登った人達、ガイドさん、全ての好条件がそろい、本当に心に残る旅になりました。観光コースのものへの森、カヤック体験等もしたので、もう一度屋久島に来たいと思います。

## 私のコーヒーづれいく

### 断捨離 (だんしゃり)

欲望を断ち(断行)、余分な物を捨て(捨行)、執着から離れる(離行)、というヨガの行法哲学に由来し、転じて、部屋の整理整頓とともに生活に調和をもたらそうとする、やましたひでこ提唱の生活術がトレンドイ。モノの断捨離に始まりヒトヤコトなど、生活全

断捨離を生活に活用する一般的な断捨離を問うというもの。 「モノへの執着を捨てる」が最大のコンセプトらしいが、家族との思い出の詰まったモノは、他人からみれば「ゴミ」でも「大切な宝物」。自分とモノとの関係を「もったいない」から「なくても生活に困らない」基準で問い直すことで、自分と他人との関係を問う直すことに繋がるとし、儀礼的な習慣(年賀状など)にも言及している。確かに、自分とモノとの関係では合理的ではあるが、例え儀礼的であっても、他人との関係にまで断捨離を当てはめるにはいささか無理があるように思えるのですが、

〈T・M〉

## 心安らいだ一日 (藤棚鑑賞)



和歌山の美山の里の日本一長い藤棚が見られるというので参加しました。車窓から見る山々は新

緑で目がまぶしい。まさに「山笑う」季節なのです。車内では知らない人たちとも旧知の友人のようになれるから不思議です。藤独特の甘い香り。五分咲きでしたが長い距離に咲いていた藤の花にウットリ。村祭りの見学も昔のことを思い起こさせ、心安らいだ一日でした。

Mさん

### さこやファンクラブに便乗する センターツーリスト友の会懇親会

- とき 2012年9月29日(土)～30日(日)
- 会費 一泊二食 1万1000円
- ※一法真澄さんのサクソ演奏あり
- 申し込み:センターリストまで(先着30名)